

「理科教室」

活動報告



「科学クラブ」顧問
住野 和男

第3回を迎える「大学の先生と楽しむ理科教室」は今年も八王子キャンパスを舞台に、8月19、20日の二日間開催され、「科学クラブ」でも「ホバークラフトを作ろう」、「三面オリガミ六角形の不思議」の2テーマで参加しました。

この「理科教室」は文部科学省が推進している「特色ある大学教育支援プログラム（通称「特色GP」）」に採択されたもので、ますます規模も内容も充実してきている、本学園の一大イベントに成長しました。

毎年この行事には学生が主体に子供たちに指導するのが目的で、本「科学クラブ」でも、学生自らが、企画、立案、製作、指導と夏休みを返上して取り組みました。

当日は天候にも恵まれ、テーマ数85、2日間で約7000名の親子が参加するほど盛況を博しました。

学生たちは、昨年の「理科教室」をすでに経験しています。今回は慣れたもので、子供たちの指導にも熱が入っていたようです。

私たち「科学クラブ」がこのイベントに参加してから、学生たちは八王子の学生寮に前の晩から泊り込み、先輩たちも交えて楽しい交流会も開いていますし、教えることの難しさと楽しさを味わうことができ、楽しい思い出を作ることができた一つの目標に向かって、全力投球して取り組む忍耐と努力、達成したときの喜びと満足感をいつまでも忘れないでほしいと願っています。

